

令和4年度

自己点検

学校関係者評価委員による評価

令和4年度 自己点検・評価結果

令和5年6月10日

項目の重要度ランク	Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須)
	Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標
	Cランク:理想的な姿(努力目標)
項目の評価	4:適切
	3:ほぼ適切
	2:やや不適切
	1:不適切

自己点検評価委員

学校長 高田 寿広
 副校長 佐藤 雅之
 教務部長 柿沼 文恵
 事務局長 青山 美緒
 学科長 渡辺 拓哉
 学科長 田口 涼太
 学科長 穂積 良幸
 教員 降矢 直美
 教員 佐々木 美代子
 教員 篠原 大智
 教員 桑名 義栄
 教員 柳橋 南
 教員 高田 早苗
 教員 近内 睦美
 教員 菅野 元美
 職員 遠藤 優花

学校関係者評価委員

(財)国際美容協会

山本 勝弘

(株)スカイパレスアソシエイツ

梅宮 三環子

(株)ステップ・ワン

中川 貴弘

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。 上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	A	4	4	学生の手引き	特に委員からの意見は無かった。
	2	B	4	4	学生の手引き	
	3	B	4	4	HP	
	4	C	3	3	学生のとびきで概略を明記	
	5	C	3	3	HPで授業シラバスを公表	
【状況・改善点等】	<3> 教育理念においてHPで分かりやすい場所に設置する。 <4・5> 概略内容は内外とも公表している。 学生のとびきで各学科、修業期間における教育目的・目標を明記する。 学内に向けた、シラバス等の詳細な内容の公表を次年度の改善点とする。					外部評価委員の評価 4

2 教育の内容		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	4	4	カリキュラム表。	
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	4	4	前年8月～12月3回学科別に会議を行い作成。	
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	4	4	事務局長・広報担当。	
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	3	3	非常勤教員の意見、研修会等で収集した情報を反映。	
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	4	4	作成されている。	
	6	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	2	2	コマシラバスは作成されていない。	
	7	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	3	4	データで取りまとめしてあり共有している。	
	8	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	2	2	2023年度より配布を開始する。	
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	4	4	年4回実施。	シラバスあるいは講義要項等の学生配布は事前にあった方がよい。
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	4	4	年2回実施。	
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	2	3	対象教員は研修に参加している。	
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	2	2	指導のみで観察はしていない。	
	13	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	C	4	4	教務部責任者が面接に基づき、レポートを記載。	
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	B	3	3	対象教員は改善活動をしている。	
	15	授業改善のための組織的取組が行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	2	3	授業改善のための取組がされている。	
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	4	4	実施している。	
	17	キャリア教育などをおこなっているか。	C	4	4	就職実務、特別授業等。	
	18	ビジネス教育をおこなっているか。	C	4	4	研修、授業実施。	
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取組をおこなっているか。	C	4	4	実践行動学、イベント。	
	20	リメディアル教育をやっているか。	C	4	4	補習、検定対策時のクラス分け時に実施。	
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	2	3	姉妹校他学科と連携した授業を一部実施。	
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	4	4	職業実践専門課程、企業連携実習等。	
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取組がされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	3	3	一部教員に限る。	
	24	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	3	3	年度によるが、年間で4～5回の研修を実施。	
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	3	4	年度ごとに計画を立て、ローテーションにて派遣している。	
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をいいるか。	C	3	3	資格取得奨励制度あり。	
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	B	4	4	日々の報告、授業日誌、例会。	
【状況・改善点等】	<6・8> 1コマずつのシラバスはなし。全体シラバスにおいては管理している。1コマシラバス作成と学生への配布を次年度以降の改善点となる。 <11・12> 授業アンケートに基づいた振り返り、研修は評価に基づいた一部教員にとどまっている。 <15> 全ステークホルダー(学生・保護者・企業)の満足度向上(教育の質向上)に向けた組織的な取組を次年度以降行っていく。 <21> 姉妹校他学科との連携授業を実施しているが、まだ一部の学科に限られるため今後取組を強化していきたい。					外部評価委員の評価	
						4	

3 教育の実施体制		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの 意見	
各学科の教育目標、育人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	A	4	4	職員会資料、HP。	特に委員からの意見は無かった。
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	4	4	サーバーにて閲覧可能。	
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	4	4	本校舎1階。	
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	C	3	3	学校常備の図書は少ない。	
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	2	3	図書室を就職支援室としても活用している。	
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	4	4	学生の手引き。	
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	4	4	学生の手引き。	
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	4	4	学生の手引き。	
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	B	4	4	月2回実施。	
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	4	4	学生の手引き。 事前資料配布。	
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	4	4	学生総合保障制度。	
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	4	4	外部委託業者にて。	
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	4	4	施設は外部委託業者にて。 備品は年1回点検。	
【状況・改善点等】	<4> 2019年度に全図書のチェックを実施。2020年度に本校舎1階の1室を図書室として整備。使用頻度が上がるよう設備改善が課題となる。 <5> 教室数の問題から、専用場所は設けていない。 2023年度より施設改変を行い、頻度を上げるよう担当者をつけ実施する。					外部評価委員の評価 4	

4 教育目標の達成度と教育効果		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	A	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。	特に委員からの意見は無かった。
	2	B	4	4	目標設定シート 職員会資料。	
	3	B	4	4	各種報告書にて管理。	
	4	C	4	4	報告書・進捗会議にて。	
	5	B	4	4	パンフ・HP・1F廊下へ掲示。 出身校への報告資料。	
	6	A	4	4	年間2回学生面談により目標設定をしている。	
	7	B	4	4	評価基準を共有。	
	8	B	4	4	成績評価表。	
	9	C	4	4	各学科長によるチェックを実施。	
	10	A	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。	
	11	B	4	4	目標設定シート 職員会資料。	
	12	C	3	3	2023年度より指導進捗及び結果報告書を作成予定。	
	13	B	4	4	パンフ・HP・学校便覧等。 出身校への報告資料。	
	14	A	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。	
	15	B	4	4	目標設定シート 職員会資料。	
	16	C	4	4	年度報告書。	
	17	C	4	4	情報公開している。	
	18	C	4	4	毎年度「内定者リスト」としてデータ格納している	
	19	C	4	4	パンフ・HP。 出身校への報告資料。	
	20	C	2	2	一部の学生しか把握できていない。	
	21	C	1	1	把握できていないため、公表できない。	
	22	C	4	4	パンフ・HP。	
【状況・改善点等】	<6> 2021年度より年2回の目標設定・振り返りの2者面談を全学科で実施。 <12> 2023年度より月次確認会にて課題確認・対策を共有していく。学科担当者が検定・コンペ指導進捗及び結果の報告書を作成し学科長、三役へ報告。 <20・21> 卒業生の1年後の就職状況を把握・公表できていないため、校友会を活用し取り組んでいく。(校友会LINE、専用ホームページの検討)また、卒業生の就職先を訪問し状況を把握する。					外部評価委員の評価
						4

5 学生支援		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	4	4	HP公表	卒業生の状況の把握ができると良い。卒業生の就職先を訪問することで状況を把握できる。
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	4	4	パンフレット	
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	4	4	募集要項。	
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	4	4	募集要項。	
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか。	A	4	4	入試相談、学費・奨学金相談等の担当を配置。	
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	4	4	オープンキャンパス、個別相談にて実施。	
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	C	4	4	課題提出、早期履修プログラム、特別授業を実施。	
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	4	4	AOプレスクール(1月)入学前オリエンテーション(2月)実施。	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	4	4	年2回ほか必要に応じ実施。	
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	1	1	常設はなし。	
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	4	4	スクールカウンセラー配置。	
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	3	3	文書はないが、周知はしている。	
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C	3	3	学科長、教務部長、校長の上級職で対応。	
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	4	4	学生指導記録。	
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	4	4	年1回実施。	
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	4	4	日本学生支援機構、独自の制度もあり。	
17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	3	3	年2回。ほか必要に応じ実施。		
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	4	4	校友会にて実施。	
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	3	3	希望者に対して実施。	
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	2	3	研修教育を行った。	
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	2	2	定期的ではないが、一部企業へは実施している。	
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP、学校便り等)	C	4	4	同窓会HP。	
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	1	1	無し	
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C	2	1	無し	
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP、学校便り等)	C	4	4	定期メール・学校新聞・HP。	
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C	4	4	卒業生・在校生状況資料、HP等。	
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C	4	4	求人案内・HP。	
【状況・改善点等】	<10> 校内には常駐していない。 <20> 美容師国家試験に関する研修は実施。2022年度より動画によるリカレント教育を実施している。 <21> 全ての就職先を訪問してはいない。県外の就職先訪問は時間・コストの問題より難しいのが現状である。 <22> 学校HP内に同窓生専用ページを設置している。2022年度より自宅郵送にて会報を発送予定。 <23・24> 保護者の意向もあるため、会発足には検討が必要。 企業の会は組織化されたものはないが、各企業、協会との連携推進は相当に進んでいる。					外部評価委員の評価	
						3	

6 社会的活動		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見	
意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	C	4	4	年間計画にて実施。	特に委員からの意見は無かった。
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。	B	4	4	県専各連、商工会、国際交流協会等に加盟。	
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	4	4	上級職を中心として、参加に注力している。	
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	4	4	小中学生の見学受け入れ、出前講座、検定会場等。	
	5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	C	3	4	地域貢献参加は単位としている。	
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	3	4	職業体験講座ほか。	
【状況・改善点等】	<3・4> 近年の注力事項として、可能な限りの推進をしている。 <6> 2022年度より小中学生を対象とした講座・リカレント教育の委員会を発足。					外部評価委員の評価 4	

7 管理運営		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見	
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的開催されているか。	A	4	4	新潟本部にて開催。	特に委員からの意見は無かった。
	2	評議員会が定期的開催されているか。	A	4	4	新潟本部にて開催。	
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	4	4	新潟本部にて開催。	
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	B	4	4	全体職員会を2回、上級職による定期例会等を毎月実施。	
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	4	4	校務分掌。	
	6	決裁規程が文書化されているか。	B	4	4	規定様式あり。	
	7	人事規程が文書化されているか。	B	4	4	規定便覧。	
	8	人事考課制度は文書化されているか。	B	4	4	新潟本部にて文書化されている。	
	9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B	4	4	新潟本部にて文書化されている。	
	10	賃金制度は文書化されているか。	A	4	4	新潟本部にて文書化されている。	
	11	採用制度は文書化されているか。	B	4	4	新潟本部にて文書化されている。	
	12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A	4	4	消防計画。	
	13	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A	4	4	消防計画書内組織図。	
	14	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	4	4	年1回避難訓練。	
	15	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	4	4	学生の手引き、HPIに記載。	
	16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B	4	4	学生の手引き、規定便覧。	
	17	公印管理簿があるか。	B	4	4	事務局にあり。	
	18	出退勤管理簿があるか。	A	3	4	2023年度から勤怠システム導入。	
	19	受信・発信簿があるか。	A	3	4	事務局にあり。	
	20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	C	4	4	本部人事部に。	
	21	教職員の健康診断がされているか。	A	4	4	年1回実施。	
【状況・改善点等】	<18> 2023年度から出退勤管理を勤怠システムを導入する。 <19> 受信・発信簿を事務局で管理している。					外部評価委員の評価 4	

8 財務		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	A	4	4	中期は5か年計画。	特に委員からの意見は無かった。
	2	B	4	4	毎月末に確認。	
	3	B	4	4	本部経理部により。	
	4	B	4	4	月次報告書にて。	
	5	A	4	4	本部経理部により。	
	6	B	4	4	本部経理部により。	
	7	C	1	1	美容・調理養成施設には必要なし。	
	8	B	3	3	学校内担当により。	
	9	A	4	4	事務局長主幹。委託外部業者により。	
	10	B	4	4	相見積りが原則ルール。	
【状況・改善点等】	<7> 現状は存在しない為、2023年度より記録簿・貸し出しマニュアルにて運用を開始する。 <8> 日常消耗品は帳簿等で管理していない為、2023年度より管理簿にて実施する。					外部評価委員の評価 4

9 改革・改善		ランク	2021 自己 評価	2022 自己 評価	備考	外部評価委員からの意見
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	B	3	4	本資料に基づき振り返り、改善計画を立案。	特に委員からの意見は無かった。
	2	B	4	4	学校三役主幹、全教職員。	
	3	C	3	4	学校関係者評価委員。	
	4	A	4	4	自己点検評価会議時に実施。	
	5	B	4	4	自己点検評価会議時に実施。	
	6	B	3	4	自己点検評価時に三役で計画立案。	
	7	B	3	4	自己点検確認会時に前年度の結果を確認。	
	8	B	4	4	本文書。	
	9	C	4	4	6月末にHP上で公開。	
【状況・改善点等】	<6・7> 本文書を計画書として活用。年度期中において評価の低かった項目の改善を実施している。					外部評価委員の評価 4